

第6回大阪観光局評価委員会における委員意見

【事業に関して】

- 観光局立ち上げ初年度で順調に成果を上げたと思う。特に従前とは違う取り組みを仕掛けられた。(関空調査、Wi-Fi、MICE アライアンス等)
- 来阪外国人 260 万人というのは高い目標であったが 262 万人を達成した。これは大阪観光局の尽力もあったが外的要因も大きい。
- 国内旅行者数の伸びが近隣府県に比べて低い。国内旅行者は大事な要素。国内向けの取り組みも力をいれてもらいたい。
- イベント実施はリスクを伴う。失敗した場合のリスク対応を慎重に考えてもらいたい。
- ホテル不足を懸念されているが、ハード面の整備は観光局だけでどうすることもできないことから、こういったクラスのホテルが不足しているかといった情報を発信し、中長期的課題として考えていくべき。
- MICE は PCO と連携をするべき。東京や京都に出遅れている。
※Professional Congress Organizer の略
コンベンション等を専門的かつ総合的に組織・企画・運営する専門業者
- 観光局の活躍と取り組みで成果にどう結び付いたのか示してもらいたい。

【数値に関して】

- 25 年度の評価は 1 年間評価委員会で議論して決定したもの。今回の評価結果はこれで良いと考えるが、観光局の活動や取り組みが数字としてどう示せるか、26 年度以降の評価のあり方を今後の評価委員会において検討していきたい。